



下関市公共施設に関する市民アンケート



平成27年9月
下関市

1. 下関市公共施設に関する市民アンケートについて

本市では、これまで多様化する市民ニーズに対応するため、多くの公共施設を整備してきました。

しかし、公共施設の老朽化や厳しい財政状況、人口減少、少子高齢化による人口構成の変化から利用需要の変化といったことにより、これまで整備してきた公共施設を、今後もこれまでと同様に管理していくことや、すべての公共施設を本市が保有していくことが困難な状況となっています。

このような課題の解決に向けて検討を進めていくうえで、平成27年3月には、「下関市公共施設マネジメント基本方針」(以下「基本方針」という。)を策定したところです。

今回、公共施設マネジメント推進にあたり、広く市民の方に意見を求め、今後の参考資料とするため、「下関市の公共施設に関する市民アンケート」(以下「市民アンケート」という。)を実施いたしました。

< 注意事項 >

- ・市民アンケートの集計にあたり、構成比については、%表示で小数点以下第2位を四捨五入しています。なお、構成比の合計が100.0%になるよう端数調整している場合があります。
- ・質問により複数回答可としているものについては、回答数の多いものから降順に表示しています。

2. 実施概要について

市民アンケートの実施概要は、以下のとおりです。

調査対象	20歳以上の市民2,500人（無作為抽出）
調査期間	平成27年5月29日(金)から 平成27年6月19日(金)まで
調査方法	郵送による調査票の配布・回収
回答者数	1,079人
回答率	43.2%

3. 回答者属性について

市民アンケートで回答いただいた方の属性は、以下のとおりでした。

性別 (単位：人、%)

性別	回答者数	構成比
男性	423	39.2
女性	615	57.0
無回答	41	3.8
合計	1,079	100.0

年代 (単位：人、%)

年代	回答者数	構成比
20代	58	5.4
30代	117	10.8
40代	162	15.0
50代	196	18.2
60代	300	27.8
70代以上	232	21.5
無回答	14	1.3
合計	1,079	100.0

地区 (単位：人、%)

地区	回答者数	構成比
本庁	285	26.4
彦島	102	9.4
長府	112	10.4
王司	31	2.9
清末	26	2.4
小月	24	2.2
王喜	7	0.6
吉田	1	0.1
勝山	86	8.0
内日	4	0.4
川中	102	9.4
安岡	59	5.5
吉見	22	2.0
菊川	34	3.2
豊田	29	2.7
豊浦	74	6.9
豊北	56	5.2
無回答	25	2.3
合計	1,079	100.0

職業 (単位：人、%)

職業	回答者数	構成比
農林水産業	32	3.0
自営業	67	6.2
会社員	276	25.6
公務員	44	4.1
団体職員	12	1.1
パート・アルバイト・派遣職員	172	15.9
専業主婦(夫)	193	17.9
学生	5	0.4
無職	235	21.8
その他	24	2.2
無回答	19	1.8
合計	1,079	100.0

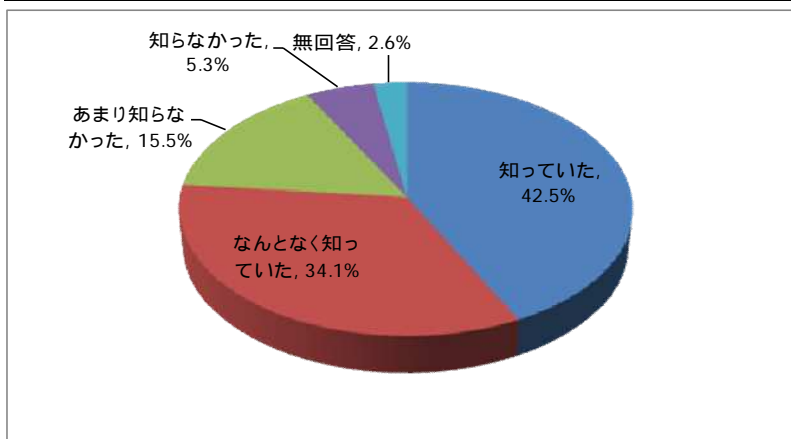
4. 質問への回答について

問1 下関市の公共施設をとりまく状況について、あなたの認識をお伺いします。次の各設問ではまる欄にそれぞれ、**1つだけ**を付けてください。

多くの公共施設が老朽化していることをご存知でしたか。

(単位：人、%)

回答	回答数	構成比
知っていた	459	42.5
なんとなく知っていた	368	34.1
あまり知らなかった	167	15.5
知らなかった	57	5.3
無回答	28	2.6
合計	1,079	100.0



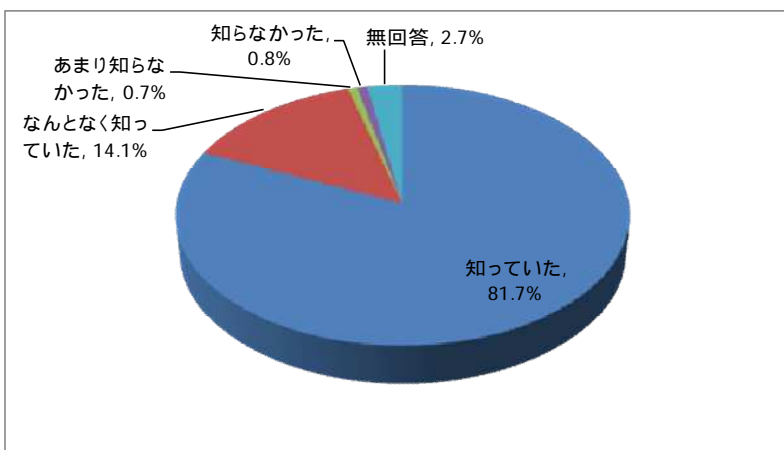
コメント

「知っていた」と「なんとなく知っていた」を合わせると、約77%の市民が、「老朽化」を認識していることになります。

人口の減少や少子高齢化が進んでいることをご存知でしたか。

(単位：人、%)

回答	回答数	構成比
知っていた	881	81.7
なんとなく知っていた	152	14.1
あまり知らなかった	8	0.7
知らなかった	9	0.8
無回答	29	2.7
合計	1,079	100.0



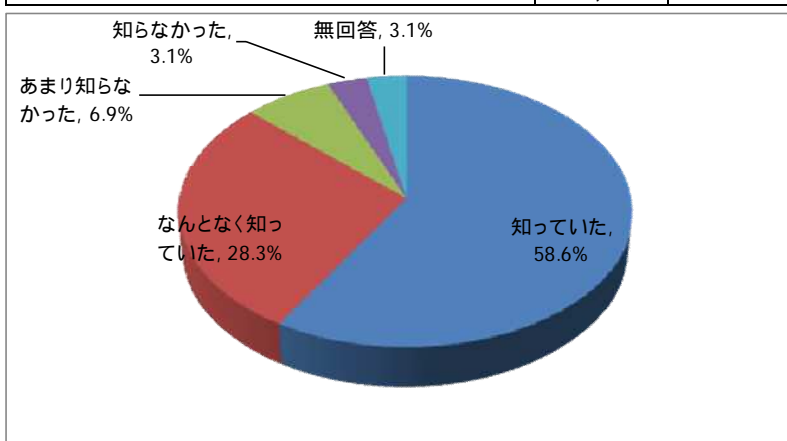
コメント

「知っていた」と「なんとなく知っていた」を合わせると、約96%の市民が、「人口の減少」や「少子高齢化」を認識していることになります。

少子高齢化による社会保障関係経費の増、人口の減少に伴う税収減等により、財政的には今後も厳しい状況が続くことをご存知でしたか。

(単位：人、%)

回答	回答数	構成比
知っていた	632	58.6
なんとなく知っていた	305	28.3
あまり知らなかった	75	6.9
知らなかった	33	3.1
無回答	34	3.1
合計	1,079	100.0



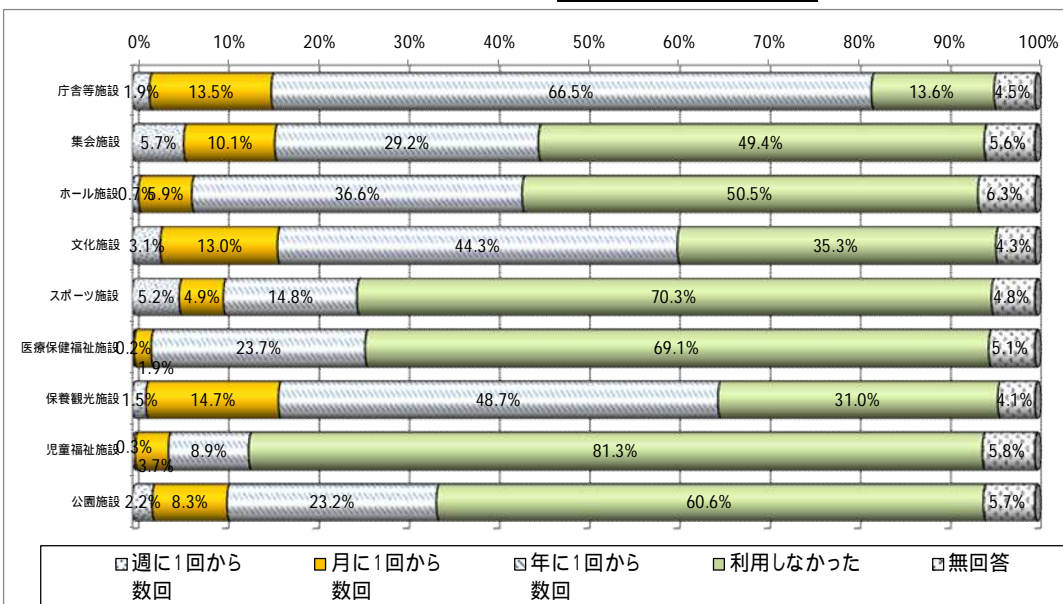
コメント

「知っていた」と「なんとなく知っていた」を合わせると、約87%の市民が、「財政状況が厳しいこと」を認識していることになります。

問2 あなたは過去1年間に下関市の公共施設をどの程度利用されましたか。利用回数に近いものを選んで、次の表の施設分類ごとのあてはまる欄に、**1つだけ** を付けてください。

(単位：上段(回答数(人)) 下段(構成比(%))

施設分類	主な施設	週に1回から数回	月に1回から数回	年に1回から数回	利用しなかった	無回答	合計
庁舎等施設	市役所、総合支所、支所等	20	146	718	147	48	1,079
		1.9	13.5	66.5	13.6	4.5	100.0
集会施設	公民館、市民センター等	62	109	315	533	60	1,079
		5.7	10.1	29.2	49.4	5.6	100.0
ホール施設	市民会館、生涯学習プラザ等	7	64	395	545	68	1,079
		0.7	5.9	36.6	50.5	6.3	100.0
文化施設	図書館、美術館、博物館、海響館等	33	140	478	381	47	1,079
		3.1	13.0	44.3	35.3	4.3	100.0
スポーツ施設	体育館、プール、陸上競技場、野球場等	56	53	160	758	52	1,079
		5.2	4.9	14.8	70.3	4.8	100.0
医療保健福祉施設	夜間急病診療所、保健センター等	2	20	256	746	55	1,079
		0.2	1.9	23.7	69.1	5.1	100.0
保養観光施設	海峡ビューしものせき、満珠荘等	16	159	525	335	44	1,079
		1.5	14.7	48.7	31.0	4.1	100.0
児童福祉施設	児童館、ふくふくこども館等	3	40	96	877	63	1,079
		0.3	3.7	8.9	81.3	5.8	100.0
公園施設	乃木浜総合公園、地区公園等	24	89	250	654	62	1,079
		2.2	8.3	23.2	60.6	5.7	100.0



コメント

「年に1回から数回」と「利用しなかった」を合わせると、全ての施設分類を通じて、約80%から90%の市民がほとんど利用していないことがわかります。

また、回答者の年代別にみた場合においても、この傾向は大きく変わりません。

回答者の年代別にみた傾向（20代）

施設分類	年に1回から数回	利用しなかった	合計
庁舎等施設	70.7%	19.0%	89.7%
集会施設	27.6%	63.8%	91.4%
ホール施設	34.5%	56.9%	91.4%
文化施設	51.7%	34.5%	86.2%
スポーツ施設	17.2%	67.2%	84.4%
医療保健福祉施設	36.2%	58.6%	94.8%
保養観光施設	63.8%	22.4%	86.2%
児童福祉施設	19.0%	67.2%	86.2%
公園施設	34.5%	43.1%	77.6%

回答者の年代別にみた傾向（30代）

施設分類	年に1回から数回	利用しなかった	合計
庁舎等施設	69.2%	8.6%	77.8%
集会施設	35.1%	50.4%	85.5%
ホール施設	35.1%	48.7%	83.8%
文化施設	53.0%	22.2%	75.2%
スポーツ施設	29.9%	51.3%	81.2%
医療保健福祉施設	42.8%	48.7%	91.5%
保養観光施設	47.0%	31.6%	78.6%
児童福祉施設	26.5%	51.3%	77.8%
公園施設	30.8%	31.6%	62.4%

回答者の年代別にみた傾向（40代）

施設分類	年に1回から 数回	利用しなかつ た	合計
庁舎等施設	69.2%	14.8%	84.0%
集会施設	34.0%	53.7%	87.7%
ホール施設	42.6%	48.1%	90.7%
文化施設	42.6%	33.3%	75.9%
スポーツ施設	25.3%	58.6%	83.9%
医療保健福祉施設	27.2%	67.9%	95.1%
保養観光施設	50.6%	35.8%	86.4%
児童福祉施設	4.9%	90.1%	95.0%
公園施設	25.9%	59.3%	85.2%

回答者の年代別にみた傾向（50代）

施設分類	年に1回から 数回	利用しなかつ た	合計
庁舎等施設	68.4%	14.3%	82.7%
集会施設	29.1%	52.6%	81.7%
ホール施設	34.7%	55.6%	90.3%
文化施設	46.9%	35.2%	82.1%
スポーツ施設	14.3%	75.0%	89.3%
医療保健福祉施設	23.0%	74.0%	97.0%
保養観光施設	49.0%	35.2%	84.2%
児童福祉施設	6.6%	88.3%	94.9%
公園施設	22.9%	68.4%	91.3%

回答者の年代別にみた傾向（60代）

施設分類	年に1回から 数回	利用しなかつ た	合計
庁舎等施設	68.3%	12.0%	80.3%
集会施設	26.0%	50.7%	76.7%
ホール施設	33.0%	54.3%	87.3%
文化施設	44.3%	37.0%	81.3%
スポーツ施設	9.3%	77.0%	86.3%
医療保健福祉施設	18.7%	73.3%	92.0%
保養観光施設	46.0%	29.3%	75.3%
児童福祉施設	8.0%	84.0%	92.0%
公園施設	20.3%	67.6%	87.9%

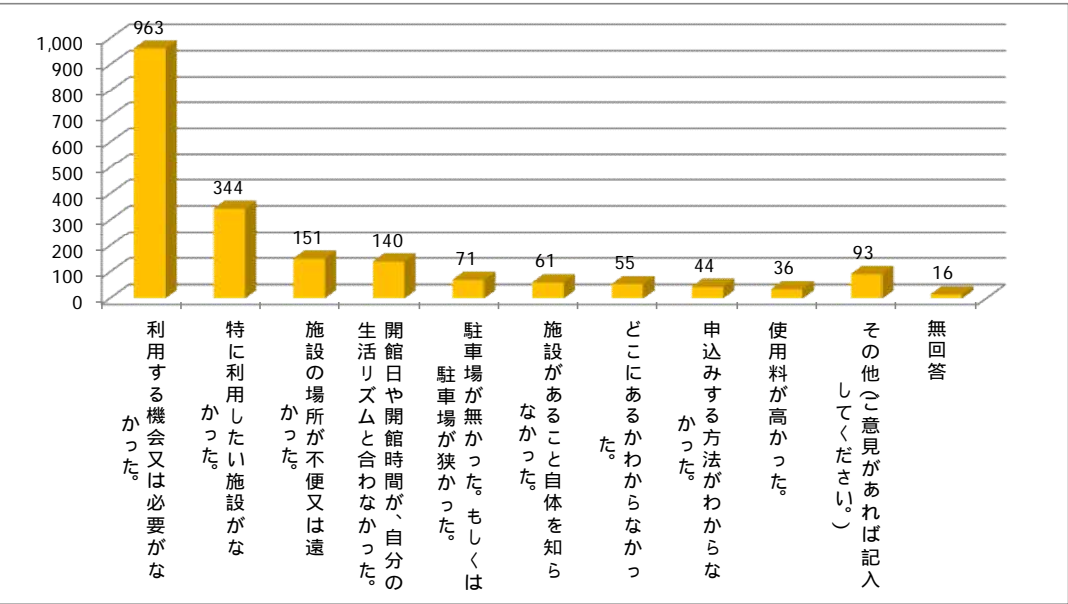
回答者の年代別にみた傾向（70代以上）

施設分類	年に1回から 数回	利用しなかつ た	合計
庁舎等施設	58.2%	15.9%	74.1%
集会施設	27.2%	38.4%	65.6%
ホール施設	38.4%	43.5%	81.9%
文化施設	35.8%	41.8%	77.6%
スポーツ施設	6.5%	76.3%	82.8%
医療保健福祉施設	15.1%	73.7%	88.8%
保養観光施設	47.4%	28.4%	75.8%
児童福祉施設	3.9%	84.0%	87.9%
公園施設	19.0%	64.2%	83.2%

問3 「問2」の中でどれか1つの施設分類でも、「年に1回から数回」、「利用しなかった」に を付けた方にお尋ねします。どのような理由で利用が少なかったのですか。あてはまる番号を**すべて** で 囲んでください。

(単位：人)

回答	回答数
利用する機会又は必要がなかった。	963
特に利用したい施設がなかった。	344
施設の場所が不便又は遠かった。	151
開館日や開館時間が、自分の生活リズムと合わなかった。	140
駐車場が無かった。もしくは駐車場が狭かった。	71
施設があること自体を知らなかった。	61
どこにあるかわからなかった。	55
申込みする方法がわからなかった。	44
使用料が高かった。	36
その他(ご意見があれば記入してください。)	93
無回答	16



「その他」に記載された意見の抜粋

- ・参加できる行事があまりない。
- ・利用したくても忙しくて利用できなかった。
- ・他で習い事をしているので時間がありません。
- ・催し物そのものが周知されていなかった。
- ・施設についてのPRを多くしていただきたい。
- ・子どもが大きくなるにつれてあまり利用する機会がなくなってきた。

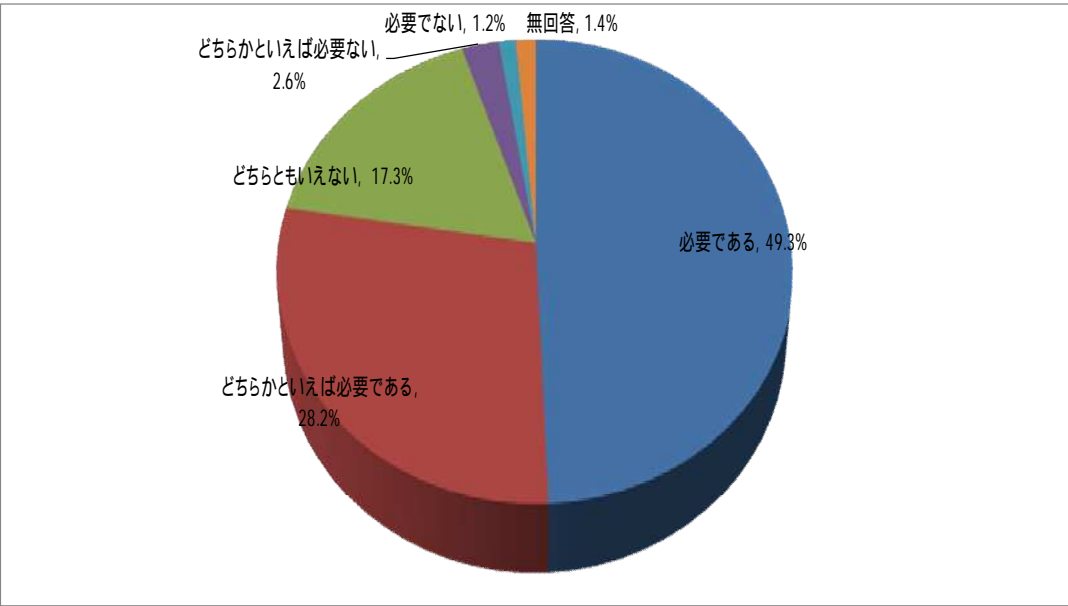
コメント

ほとんど公共施設を利用していない市民の多くが、「利用する機会又は必要がなかった」、「特に利用したい施設がなかった」と回答しており、行政側においては、市民に公共施設を利用してもらうための取組みが、より必要であると考えられます。

問4 下関市では、今後、今あるすべての公共施設を維持することが、困難になると予測されるため、行政サービスの維持に配慮しながら、時間をかけて、公共施設の量を減らしつつ適正に配置していくことが必要と考えています。このことについてどう思われますか。あてはまる番号を**1つだけ**で囲んでください。

(単位：人、%)

回答	回答数	構成比
必要である	532	49.3
どちらかといえば必要である	304	28.2
どちらともいえない	187	17.3
どちらかといえば必要ない	28	2.6
必要でない	13	1.2
無回答	15	1.4
合計	1,079	100.0



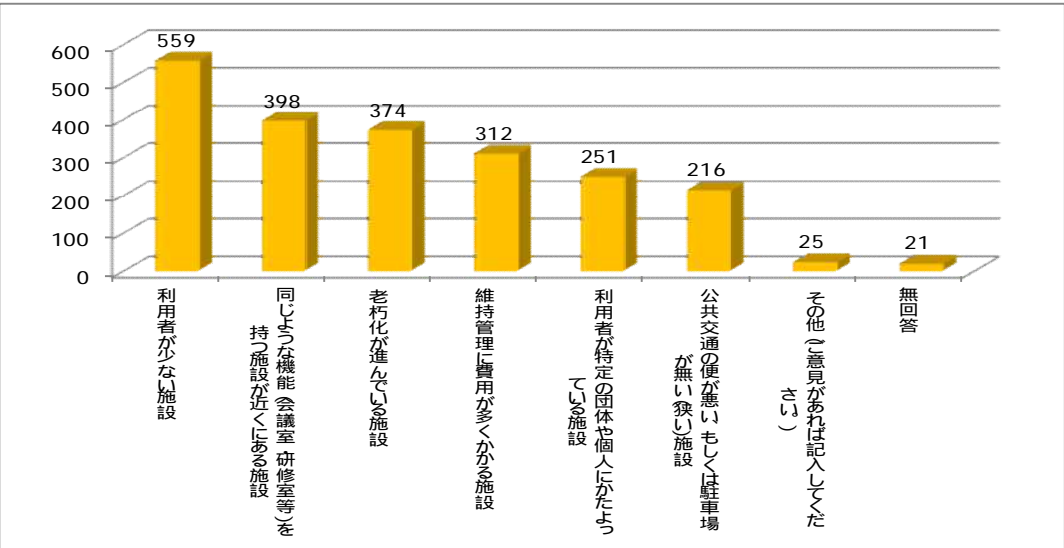
コメント

「必要である」と「どちらかといえば必要である」を合わせると、約78%の市民が、「行政サービスの維持に配慮しながら、時間をかけて、公共施設の量を減らしつつ適正に配置する必要がある」と認識していることがわかります。

問5 「問4」で「1 必要である。」もしくは「2 どちらかといえば必要である。」とお答えされた方にお尋ねします。見直しを行うべきはどのような公共施設だとお考えですか。あてはまる番号を多くて3つまで選んで 〇で囲んでください。

(単位：人)

回答	回答数
利用者が少ない施設	559
同じような機能(会議室・研修室等)を持つ施設が近くにある施設	398
老朽化が進んでいる施設	374
維持管理に費用が多くかかる施設	312
利用者が特定の団体や個人にかたよっている施設	251
公共交通の便が悪い、もしくは駐車場が無い(狭い)施設	216
その他(ご意見があれば記入してください。)	25
無回答	21



「その他」に記載された意見の抜粋

- ・施設を統合し、駐車場(無料)を増やし、誰もが気軽に利用できるものを作ってほしい。
- ・老朽化した施設は、地震の際に心配なので建替え、駐車場も検討してほしい。
- ・大きい特殊機能を有する施設を減らし、皆の住みやすい、コンパクトな地域住民のニーズに合った施設を充実して欲しい。

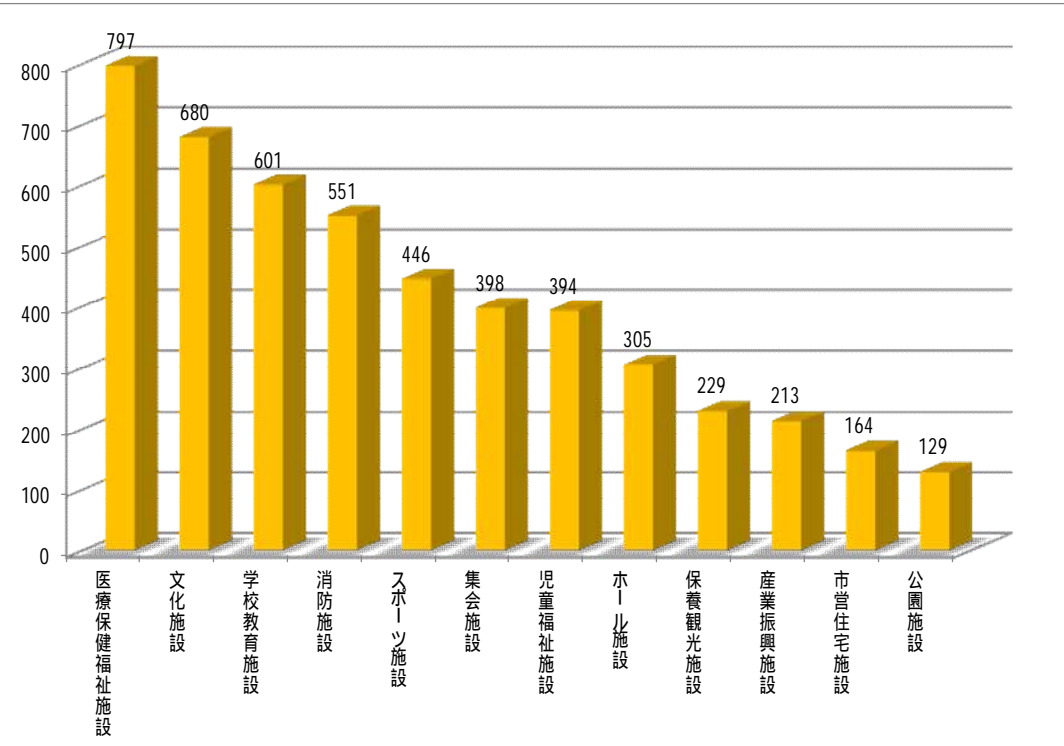
コメント

公共施設の総量を縮減するにあたって、「利用率が低い」、「類似施設がある」、「老朽化している」、あるいは「維持管理費用が多額である」公共施設を見直す必要があると回答していることがわかります。

問6 将来的にはどの公共施設を優先的に維持すべきと思いますか。
 次の表からあてはまる番号を多くて5つまで選んで 囲んでください。

(単位：人)

施設分類	主な施設	回答数
医療保健福祉施設	夜間急病診療所、保健センター等	797
文化施設	図書館、美術館、博物館、海響館等	680
学校教育施設	小学校、中学校等	601
消防施設	消防署、消防機庫等	551
スポーツ施設	体育館、プール、陸上競技場、野球場、庭球場等	446
集会施設	公民館、市民センター、市民活動センター等	398
児童福祉施設	保育園、児童館、ふくふくこども館等	394
ホール施設	市民会館、生涯学習プラザ、アブニール等	305
保養観光施設	海峡ビューしものせき、満珠荘、道の駅等	229
産業振興施設	唐戸市場、南風泊市場等	213
市営住宅施設	市営住宅	164
公園施設	乃木浜総合公園、地区公園等	129



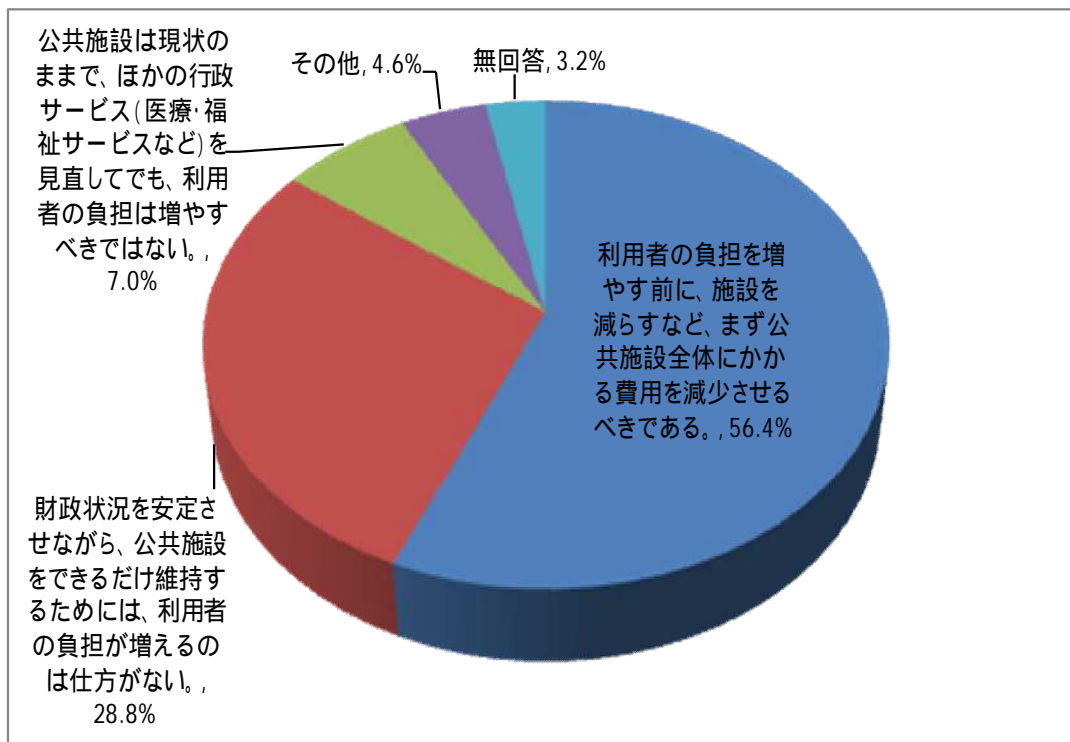
コメント

優先的に維持すべき施設として、市民生活により密着した「医療保健福祉施設」、「文化施設」、「学校教育施設」、「消防施設」が選択されていることがわかります。

問7 今後は人口減少、特に働きざかりの人口減少による税収減が見込まれるなど、市の財政状況がより厳しくなっていくことが予測されています。その一方で、公共施設の老朽化によって、改修や建替えのための費用が増加していくことも予測され、今まで無料であった施設の使用料を有料にしたり、使用料を値上げするなどが考えられます。このことについて、あなたの考えに近い番号を**1つだけ**で囲んでください。

(単位：人、%)

回答	回答数	構成比
利用者の負担を増やす前に、施設を減らすなど、まず公共施設全体にかかる費用を減少させるべきである。	608	56.4
財政状況を安定させながら、公共施設をできるだけ維持するためには、利用者の負担が増えるのは仕方がない。	311	28.8
公共施設は現状のままで、ほかの行政サービス(医療・福祉サービスなど)を見直しても、利用者の負担は増やすべきではない。	75	7.0
その他	50	4.6
無回答	35	3.2
合計	1,079	100.0



「その他」に記載された意見の抜粋

- ・普通の家庭なら赤字を出した時点で節約します。
- ・本当に必要な施設であれば利用者の負担が増えてもしょうがないと思う。
- ・事業を一定期間継続すること(20年?)を条件に民間企業に積極的に譲渡、売却すべき。
- ・利用者の負担を増やして、利用者が減るのは考えものです。施設の見直しをして、必要のないものを減らすのは良いとは思いますが、魅力ある施設にして利用者を増やすことを考えて欲しいと思います。

コメント

「利用者の負担を増やす前に、施設を減らすなど、まず公共施設全体にかかる費用を減少させるべきである。」が最も多く、基本方針で定めた3つの方針のうちの「方針3：施設の効率的かつ効果的な運営」をより推進していく必要があるといえます。

また、「財政状況を安定させながら、公共施設をできるだけ維持するためには、利用者の負担が増えるのは仕方がない。」が次に選択数として多く「受益と負担の公平」についても、今後、より留意していく必要があることがわかります。

～ 下関市公共施設マネジメント基本方針より～

～公共施設マネジメントの基本方針～

方針1：施設の適正配置と施設総量の縮減

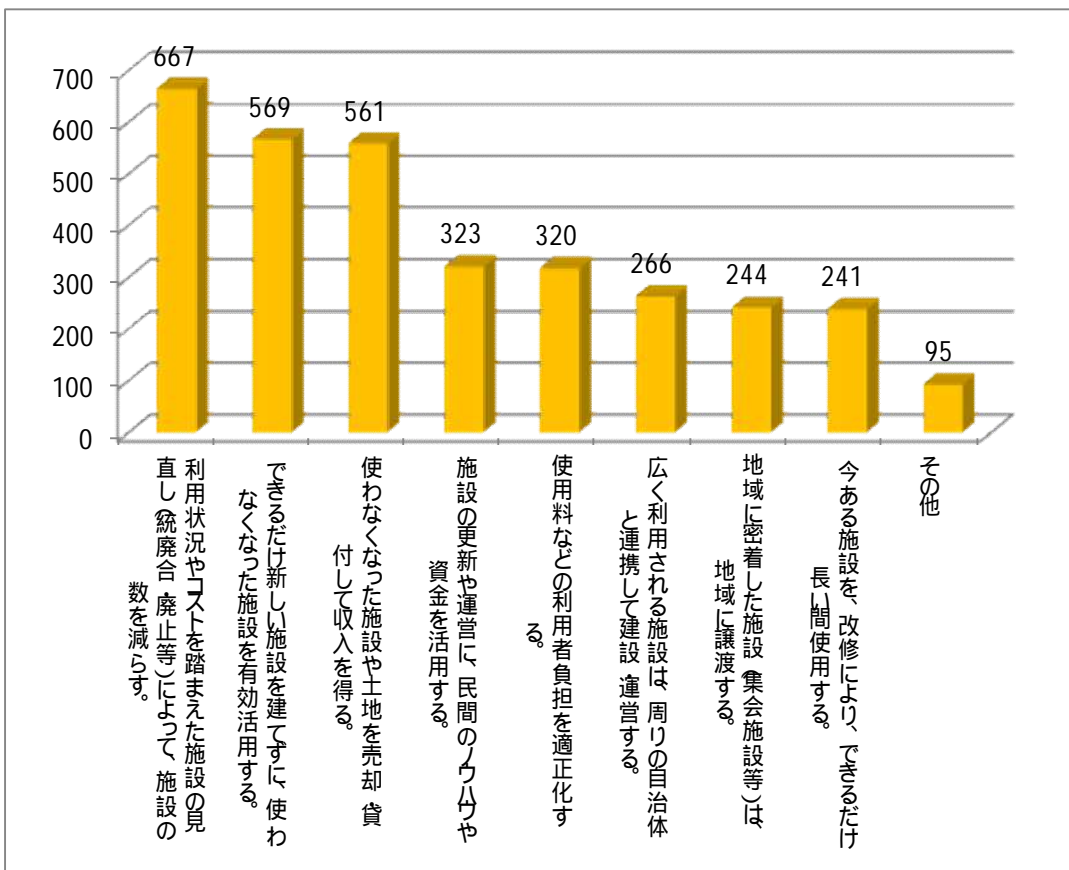
方針2：施設の予防保全による長寿命化

方針3：施設の効率的かつ効果的な運営

問 8 今後、下関市で公共施設の見直しを進めていくにあたり、下関市に期待することは何ですか。
あなたの考えに近い番号を「すべて」で囲んでください。

(単位：人)

回答	回答数
利用状況やコストを踏まえた施設の見直し（統廃合・廃止等）によって、施設の数減らす。	667
できるだけ新しい施設を建てずに、使わなくなった施設を有効活用する。	569
使わなくなった施設や土地を売却・貸付して収入を得る。	561
施設の更新や運営に、民間のノウハウや資金を活用する。	323
使用料などの利用者負担を適正化する。	320
広く利用される施設は、周りの自治体と連携して建設・運営する。	266
地域に密着した施設（集会施設等）は、地域に譲渡する。	244
今ある施設を、改修により、できるだけ長い間使用する。	241
その他	95



「その他」に記載された意見の抜粋

- ・施設に係る費用は、施設の収入によって維持管理する。それができない所は統合する。
- ・維持管理に工夫をしたらどうか。民間企業を積極的に活用する方法はないか。
- ・学校、庁舎、集会施設は統廃合。県の施設との重複もある。文化、スポーツ施設、観光施設は民間会社へ委託。利用者のいない公園は土地を売却する。(子どもではなく土地が遊んでいる。)
- ・使った施設にはそれに見合った対価を支払うのは当然です。なくなって困るのであればなおさら、改修費用の一部等は支払うべきである。施設を使用しているのはほんの一部の人たちで、そのために全市民からの負担はしょうがないとしても、使用者にはそれなりの増額をして支払わせるべきだと思う。

コメント

今後、市民が本市に期待することとして「利用状況やコストを踏まえた施設の見直し(統廃合・廃止等)によって、施設の数減らす。」、「できるだけ新しい施設を建てずに、使わなくなった施設を有効活用する。」、「使わなくなった施設や土地を売却・貸付して収入を得る。」の順に多く、基本方針で定めた3つの方針のうちの「方針1：施設の適正配置と施設総量の縮減」を利用状況、コストの状況を踏まえながら推進していく必要があるといえます。

～ 下関市公共施設マネジメント基本方針より～

～公共施設マネジメントの基本方針～

方針1：施設の適正配置と施設総量の縮減

方針2：施設の予防保全による長寿命化

方針3：施設の効率的かつ効果的な運営

問9 下関市の公共施設について、ご意見がありましたら記入してください。

意見の抜粋

- ・市場や宿泊施設など民間に売却して運営してもらおう。
- ・市の公共施設の運営、管理の民営化を幅広く推進する。「市のモットー」にしてみても…。市職員全員の本件に対する意識改善を強化していくことが先決だと思う。
- ・施設の運営にあたって、人口の減少、老朽化は目に見えてわかっています。早々から資金を積み立てておけばよかったのに…。運営者の無駄使いなどありませんでしたか？
- ・作り物や動く物は、経年変化による老朽化の問題がつきまといまいます。だから、設置した時点から維持・管理の計画・検討を立てておく必要がある。施設の見直しを行うことになった場合は、市民にわかりやすく説明して、納得させる責任がある。私の感じる限りでは、見直しの実施概要や予定期間が市報に掲載されるだけのことが多く、結論に至った経緯や詳しい説明がない。行政や維持運営する側はもっと身を削る努力をしてほしいと願う。
- ・施設の複合化を進めてほしい。
- ・下関市に限らずいつも思うことです。箱物ばかり作るけど、維持費も含めた予算（費用）なのだろうか。何でも維持費はかかるのです。箱物は最小限で良いです。
- ・維持コスト・人口減少・利用状況のシミュレーションが甘いのではないかと。根本的な部分で考え方を考える必要があると感じる。
- ・公共施設やさまざまな場所でイベントを行っていたり、幅広い年齢層を集めていくことも大切なのは…。集まる場所の年齢層が偏っている。
- ・本当に必要な施設がどれなのか見極めて、継続するものは整備して若い人も行きやすくしてほしい。ただ、利用者が少ないといって全てなくさずに、本当にいらぬのか考えてほしいと思います。
- ・公共施設を1件運営していくためには、人件費、光熱費等、かなりの経費がかかるはず。本当に不必要なものを見極めて、1件、2件の少ない数の廃止でもかなりの資金が浮くのでは？
- ・公共施設が多くあります。市民にとっては良いことです。しかし、年月が経てば老朽化が進みお金はかかるし危険です。使用しない、又使用頻度の少ない所は統廃合、廃止も仕方がないのではと思います。
- ・必要量を的確に把握し、適切な運営を望む。
- ・特に他市にあるから必要と、何かにつけて建設するというが、費用対効果、人口減少と活用の範囲が狭まるので未来に赤字のつけを残さないよう歳出削減。

意見の抜粋

- ・箱物行政のなれの果てで市民に負担を押し付けないよう、早期適正化を望みます。“安心安全”の為の公共事業には賛成ですが、“無理無駄”や身の丈に合っていない豪華な建物はいりません。
- ・公共施設 = 無料の時代ではなく、全ての人に平等にするために、維持費は利用者負担とする。それで利用者がいなければ必要ない施設である。
- ・利用者負担が基本と思います。
- ・すべて公費ではなく、受益者負担で維持整備していくべきでは、利用しない人も税負担していて公平ではありません。
- ・小学校の空教室有効活用 地域自治会に開放。地域老人の憩いの場及び子供たちとのコミュニティー化の推進。
- ・結局の所、人がいないから税収が減り、今回のような問題も大きくなってしまいます。どうしたら若い世代を呼べるかを考えるべき。下関には海もあるし歴史もある。なのにアピールが足りないというか正直名所的な所も角島、唐戸市場くらいになっています。本当の下関市の魅力を前面に打ち出していくべき。
- ・問題提起のための情報発信、共有を市がもっと行うべきである。市報だけでは市民に伝わらない。
- ・公共施設の利用状況を発表していく。
- ・早め早めの修繕が大事と思われます。ガタガタになるまでそれぞれの施設をほっとかないで下さい。人のケガと同じで手当は早めに。お金の額も少なくて済むし。
- ・災害等に備えるべき施設は、できるだけ存続を願います。
- ・人口減少は下関に限った問題ではない。武雄市等、他の自治体の取り組みや成功モデルを取り入れてはいかがでしょうか。人口は増えません。この土地に合った適正な人口になっていくだけです。破産しないようにお願いします。

下関公共施設に関するアンケート
平成27年9月

〒750-8521 下関市南部町1番1号
下関市総務部行政管理課

e-mail:smgyosei@city.shimonoseki.yamaguchi.jp